



海風の国

2023  
December

12

# 佐世保観光マーケティングレポート

SASEBO TOURISM MARKETING REPORT

公益財団法人 佐世保観光コンベンション協会

# データに基づく 観光マーケティング ×ブランディングを目指して

2023年5月のコロナ5類移行以来、インバウンドを含む観光需要は急速に回復しており、佐世保市を訪れる訪問者数もコロナ前の水準に近づこうとしています。

こうした中、本市が”旅先として選ばれる地域”となるためには、これまで以上に戦略的な観光地域づくりを官民一体で進めていく必要があります。

私たち佐世保観光コンベンション協会では、そのキーワードとして「データに基づく観光マーケティング×ブランディング」を進めて参りたいと考えています。

携帯電話のGPSによる移動データや検索データ、宿泊予約データ、SNSデータ等の様々なビックデータを駆使し、本市を取り巻く観光の現状と課題をリアルタイムで分析し、各種の事業を展開します。

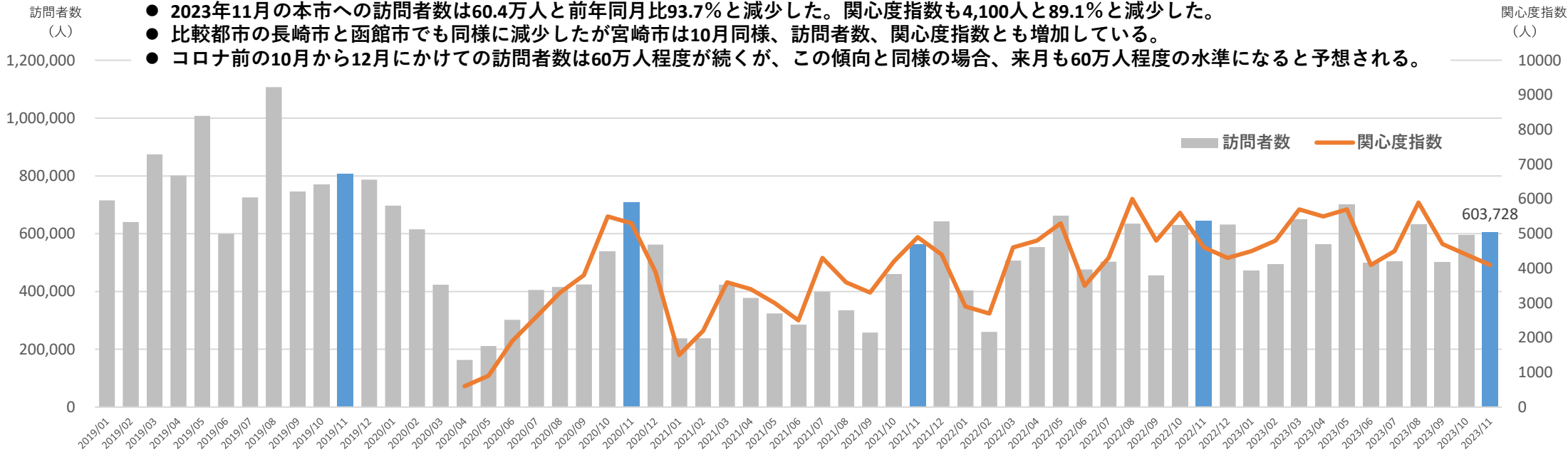
このレポートはこうしたビックデータやそれに基づく分析結果を観光関連事業者等の皆さまへお届けするために作成するものです。今後は毎月、本レポートを発行しながら、定期的な動画解説や各種セミナーなどを実施して参ります。是非、皆さんもデータに関心を持っていただき、私たちと一緒にデータに基づく観光地域づくりを進めていければ幸いです。

※本データは携帯電話アプリの位置情報や検索行動などを基にした推計値です。佐世保市が発表する観光統計とは異なります。



海風の国

# 2023年11月訪問者数・関心度指数サマリー



- 2023年11月の本市への訪問者数は60.4万人と前年同月比93.7%と減少した。関心度指数も4,100人と89.1%と減少した。
- 比較都市の長崎市と函館市でも同様に減少したが宮崎市は10月同様、訪問者数、関心度指数とも増加している。
- コロナ前の10月から12月にかけての訪問者数は60万人程度が続くが、この傾向と同様の場合、来月も60万人程度の水準になると予想される。

訪問者数・関心度指数相関係数 0.904 (2020年4月からの通算)

## 佐世保市：訪問客数・関心度指数

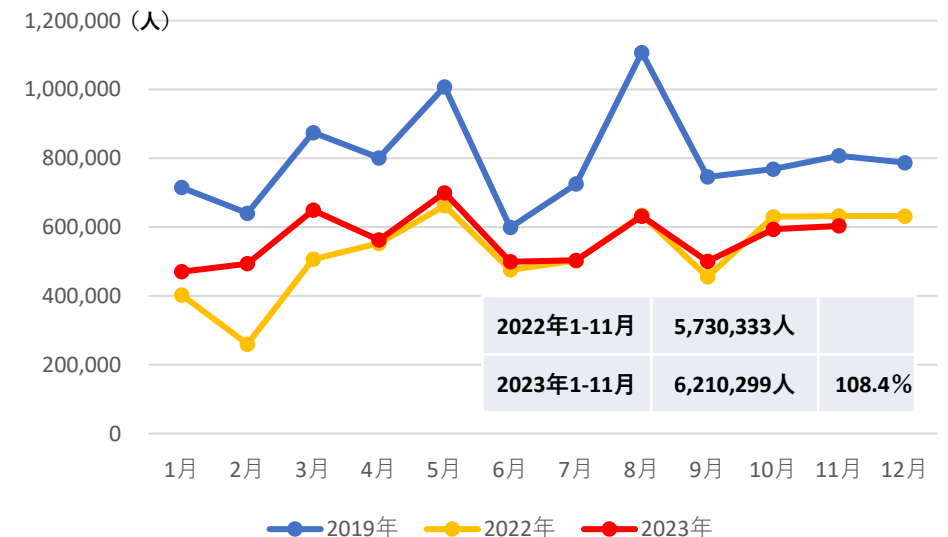
	訪問客数	関心度指数※
今月 (11月)	603,728人	4,100人
前年同月比	93.7% ↓	89.1% ↓
コロナ前比	74.8% ↓	—

## 比較都市：訪問者数・関心度指数

	佐世保市	長崎市	函館市	宮崎市
訪問者数 (人)	603,728人	823,807人	469,147人	470,917人
(前年同月比)	93.7% ↓	92.4% ↓	89.8% ↓	111.4% ↑
関心度指数 (人)	4,100人	21,100人	12,000人	10,700人
(前年同月比)	89.1% ↓	83.1% ↓	70.2% ↓	107.0% ↑

※関心度指数は、日本全体でどれくらいの人があるキーワードを検索しているかを表す指標。ヤフーの検索データと政府統計や検索シェア比を使って推計値として算出。本レポートでは、検索キーワード「佐世保市」の観光関連の共起ワードで最多の「佐世保\_観光」とし完全一致のみをカウントした。実際は「佐世保観光」、「佐世保\_観光\_〇〇」、「佐世保旅行」など検索ワードは様々であるが、定点観測ワードとして採用した。

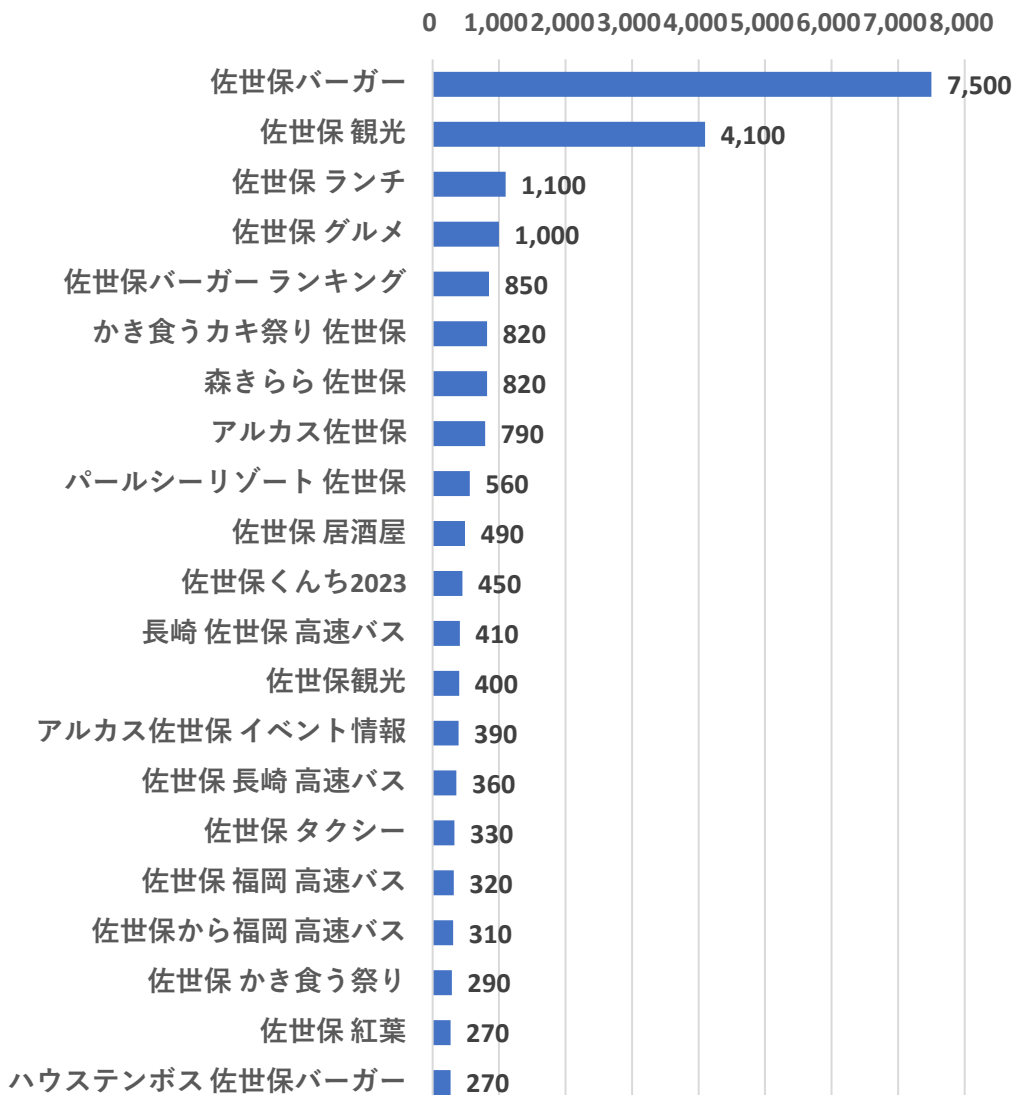
## 佐世保市月別訪問者数



# 11月の「佐世保」関連キーワード 関心度指数ランキング

- 11月の佐世保関連キーワードの関心度指数は「佐世保バーガー」が最も多く、「佐世保 観光」、「佐世保 ランチ」、「佐世保 グルメ」が続いている。
- 「佐世保 ランチ」と「佐世保 グルメ」は10月ではランチが5位、グルメが9位であったため、関心度が上昇している。
- 関心度の増加率をみると秋の紅葉シーズンにふさわしく「佐世保 紅葉」の増加率が最も高く、続いて11月に開催された「かき食うカキ祭り」が上位にランクインしている。

【「佐世保」関連キーワード関心度指数ランキングベスト20（人）】



<参考> その他佐世保市内施設の関心度指数

- ・ハウステンボス 86,300人（10月87,000人）
- ・九十九島 3,200人（10月3,900人）

【対前月からの増加率ランキング】

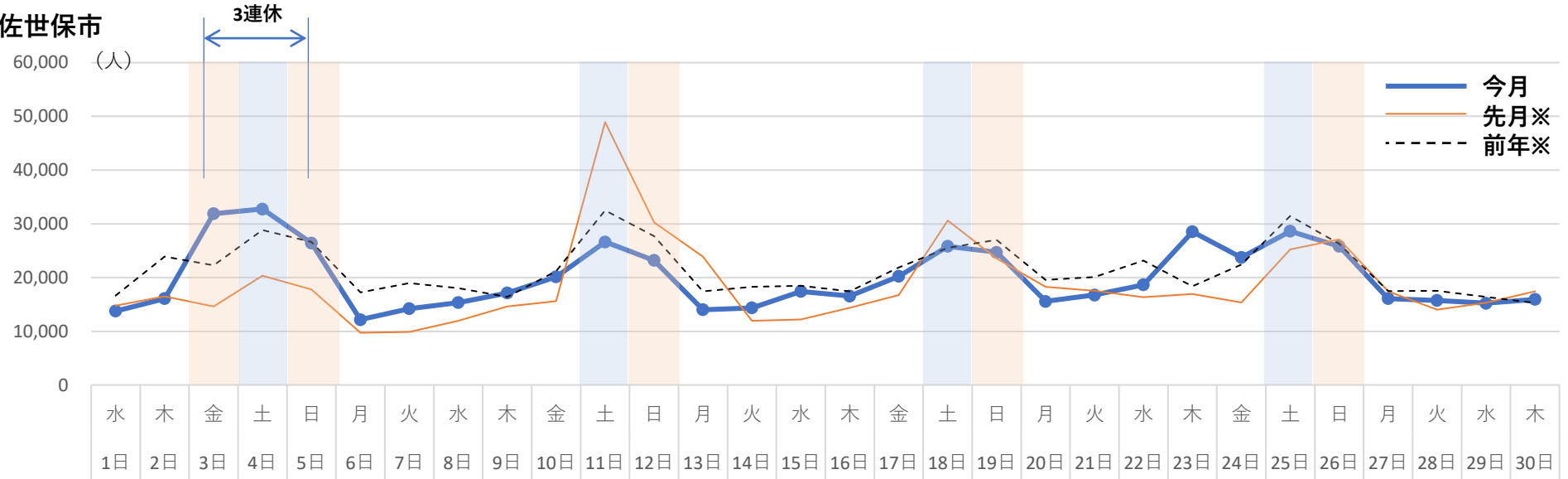
1位	佐世保 紅葉
2位	かき食うカキ祭り 佐世保
3位	佐世保 かき食う祭り
4位	佐世保バーガー本店
5位	佐世保くんち2023
6位	佐世保から福岡 高速バス
7位	佐世保 居酒屋
8位	佐世保 タクシー
9位	佐世保バーガー
10位	佐世保 福岡 高速バス

※関心度指数  
日本全体でどれくらいの方がそのキーワードを検索しているかを表す指標。ヤフーの検索データと政府統計や検索シェア比を使って推計値として算出

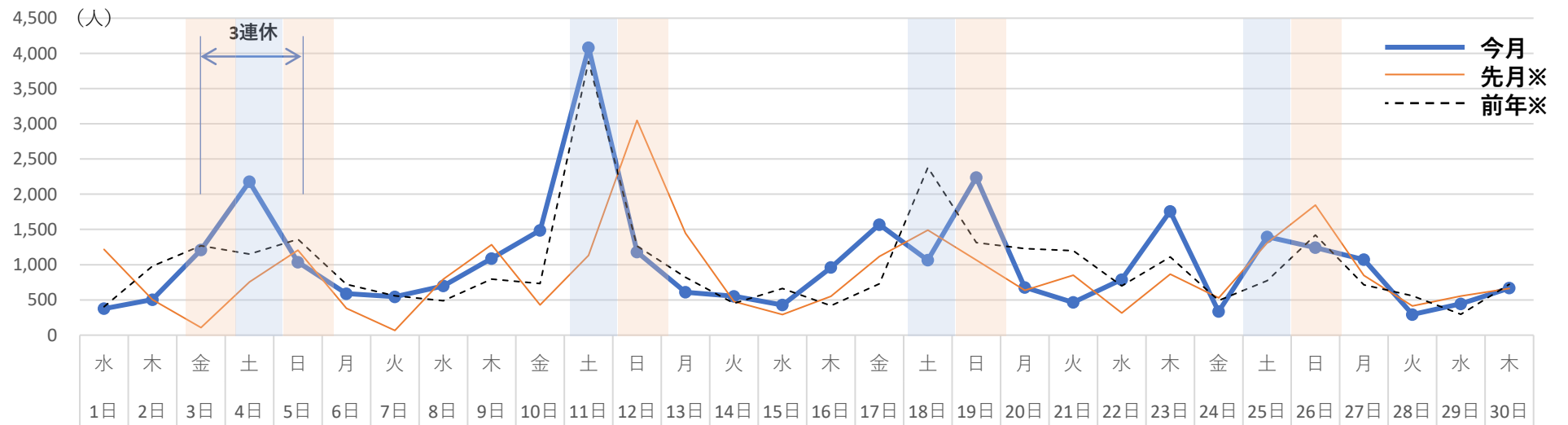
# 11月デイリー訪問者数

- 11月のデイリー訪問者数は、佐世保市全体では3連休の中日の4日（土）が最多となった。
- パールシーリゾートではかき食うカキ祭りが開催されている11日（土）が最も多くなったが、かき食うカキ祭りが中止となった昨年と比較すると微増となった。月間で比較すると先月に比べ20%増、前年に比べ7%増と好調な出足となった。

## 佐世保市



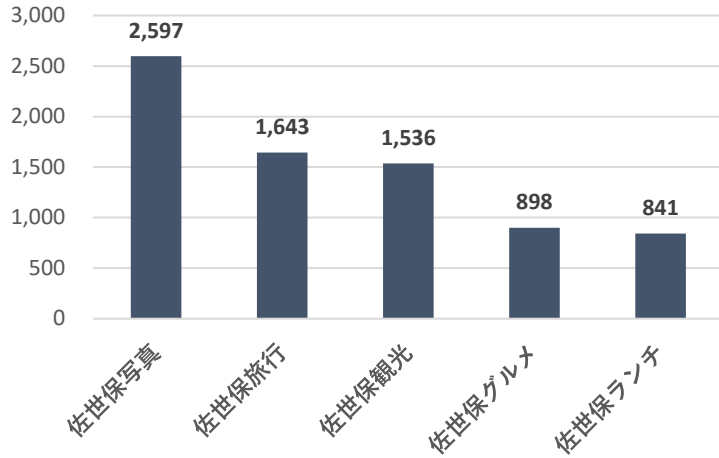
## 九十九島パールシーリゾート・海きらら



# 11月の佐世保関連キーワードSNS投稿数



## 11月投稿数

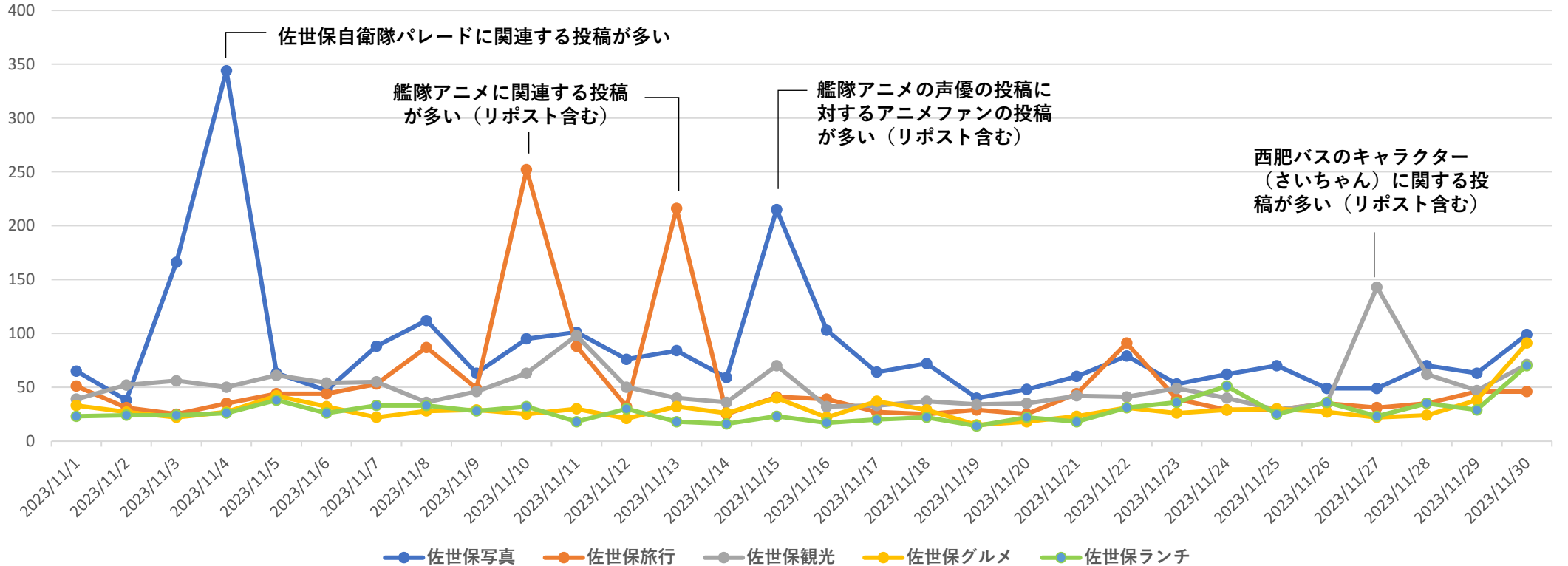


「X (旧Twitter) / Instagram / Facebookページ / ブログ / Q&Aサイト / YouTube / TikTok / 掲示板 / ニュース」投稿数の合計

## 1日あたり投稿数

	佐世保写真	佐世保旅行	佐世保観光	佐世保グルメ	佐世保ランチ
X (旧Twitter)	47.0	28.0	25.0	6.0	10.0
X (Twitter / RT無し)	15.0	11.0	13.0	3.0	8.0
Instagram	29.0	24.0	20.0	19.0	15.0
Facebook	0.5	0.1	0.3	0.2	0.0
ブログ	1.9	0.7	1.0	1.3	2.0
Q&Aサイト	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0
YouTube	0.2	0.0	0.0	1.0	0.0
掲示板	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ニュース	6.0	1.0	2.0	1.0	0.0
合計	84.7	54.0	48.5	28.6	27.0

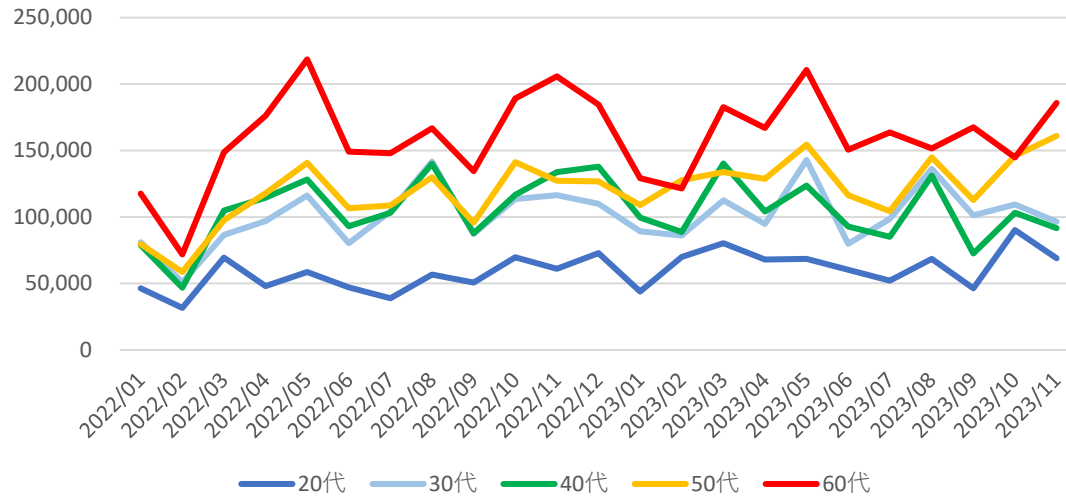
## 【11月の「佐世保」関連キーワードSNS投稿数】



# 2023年11月／性・年代別サマリー

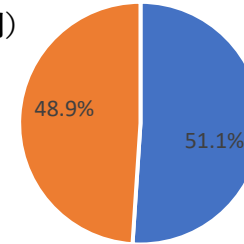
- 2023年11月の年代別訪問者数は、60代が18.6万人で最も多く、50代が16.0万人で続いている。
- 前年同月比では50代が126%、20代が113%と先月同様に増加したものの、他の年代は減少し特に40代が68%と減少した。
- 関心度指数は50代が最も多いが、各年代で前年同月を下回った。
- 対前年同月と比較すると訪問者数は、50代女性で大きく増加したが、40代男女、30代男性で減少が見られた。また、関心度指数は、40代から60代でほぼ前年水準であったが、20代と30代で減少している。特に20代は6月以降、5か月連続で減少している。

年代別訪問者数推移 (人)



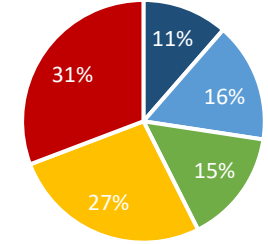
今月の来訪者数

(性別)



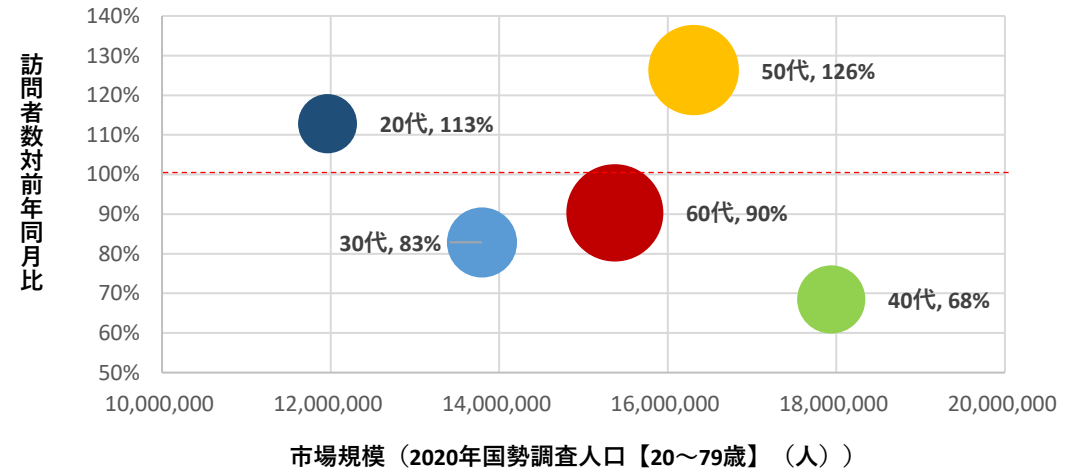
■ 男性 ■ 女性

(年代別)



■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

市場規模×訪問者数増加率 (対前年同月比) ※円の大きさは11月訪問者数



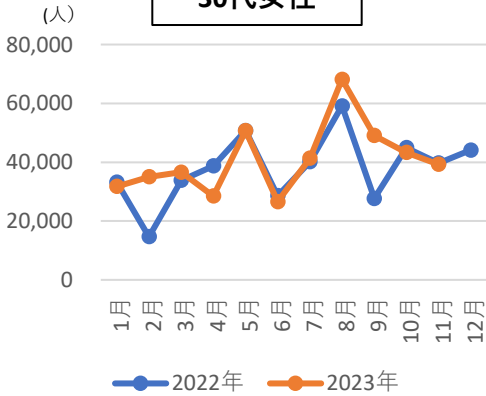
11月の年代別訪問者数・関心度指数

	訪問者数			男女比		前年同月比	関心度指数 「佐世保 観光」		前年同月比
	訪問者数	人口比※		女性	男性		訪問者数	関心度指数	
20代	68,902	0.58%		53%	47%	113% ↑	20代(検索) 490	67% ↓	
30代	96,518	0.70%		41%	59%	83% ↓	30代(検索) 580	76% ↓	
40代	91,614	0.51%		52%	48%	68% ↓	40代(検索) 810	100% →	
50代	160,906	0.99%		47%	53%	126% ↑	50代(検索) 920	93% ↓	
60代	185,787	1.21%		58%	42%	90% ↓	60代(検索) 730	92% ↓	

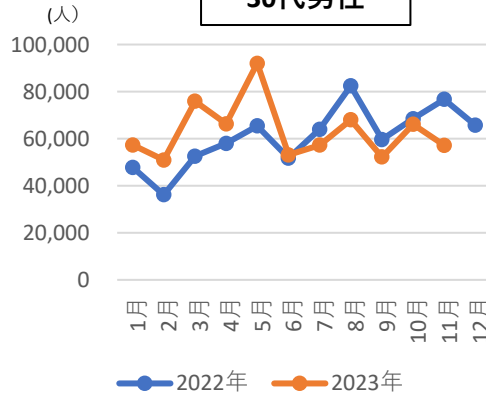
# 性・年代別訪問者数 対前年比較

- 前年同月と比較すると、40代の男女と30代の男性が減少しているが、他の世代は概ね前年並みで推移している。
- 50代女性は前年に比べ52%増加しているなど、各世代の中で唯一大きく増加した。

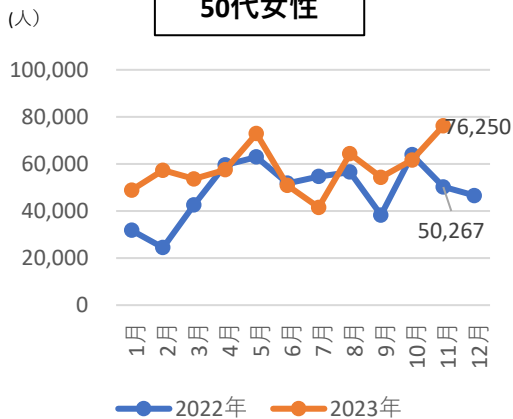
### 30代女性



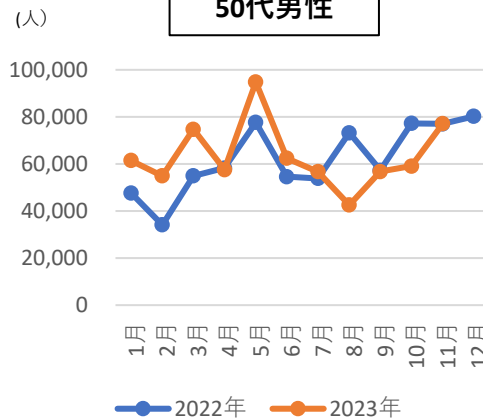
### 30代男性



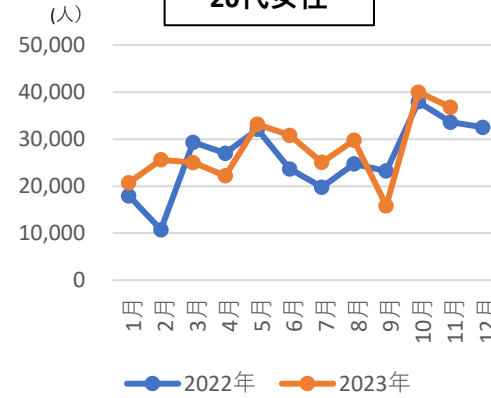
### 50代女性



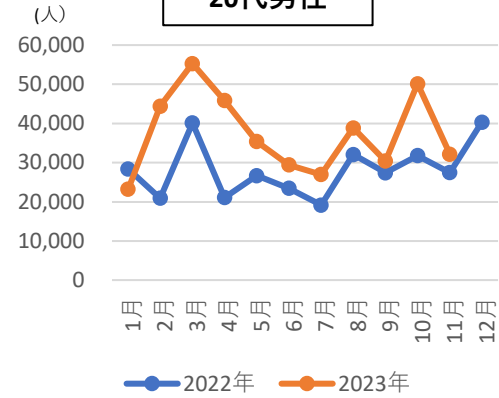
### 50代男性



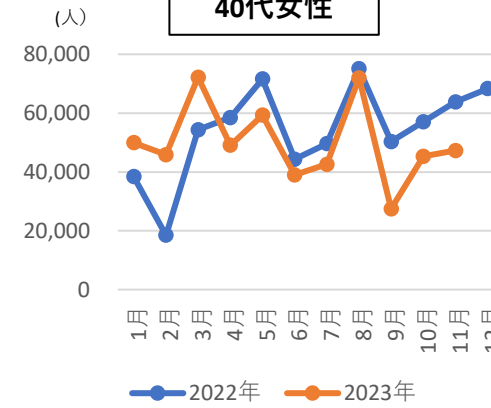
### 20代女性



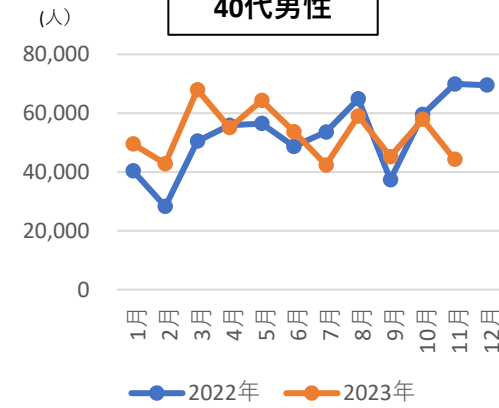
### 20代男性



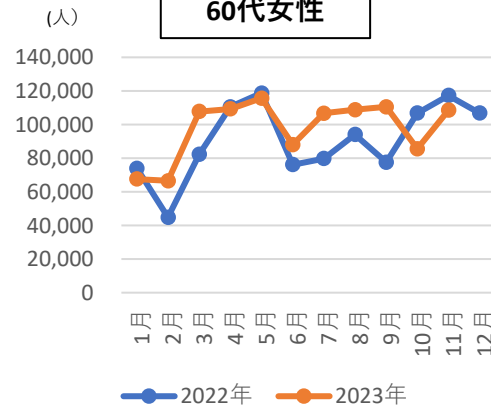
### 40代女性



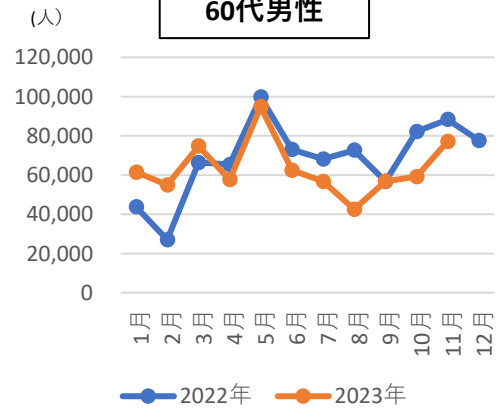
### 40代男性



### 60代女性



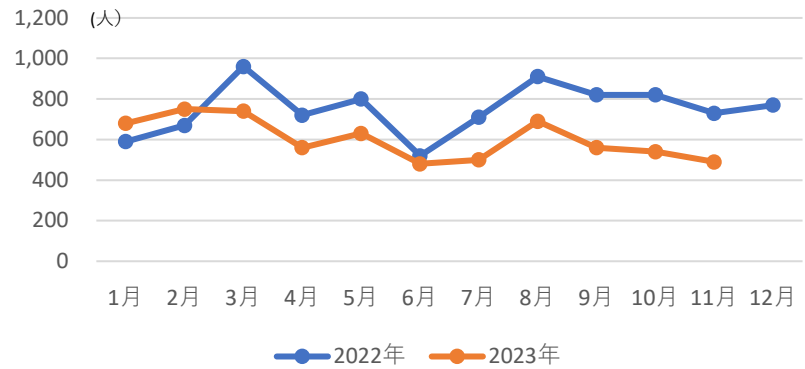
### 60代男性



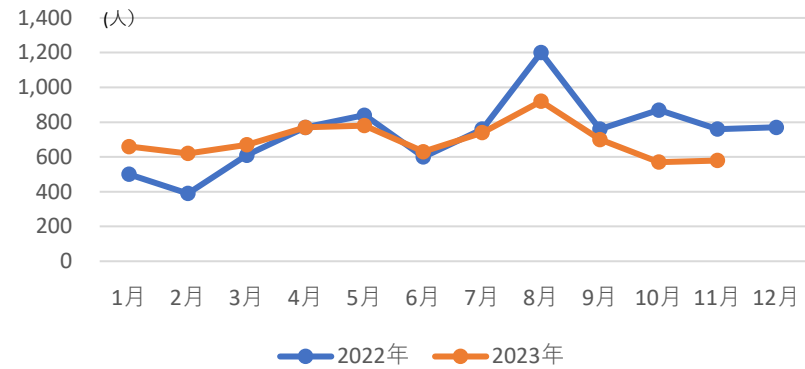


# 年代別関心度指数 前年比較

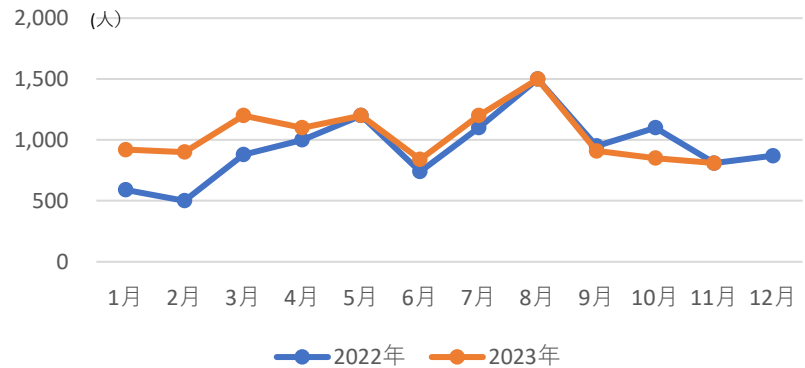
## 20代



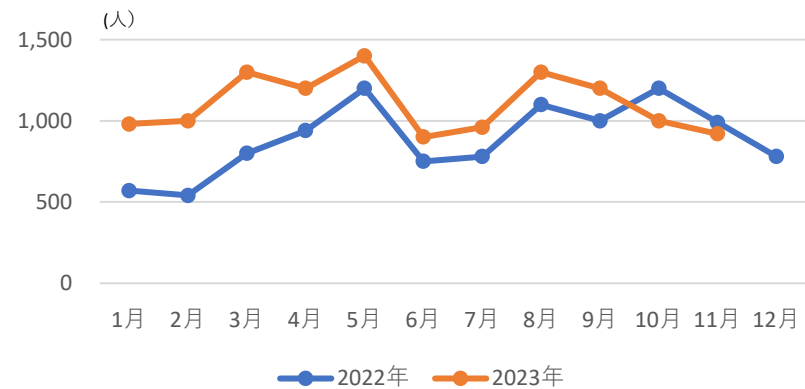
## 30代



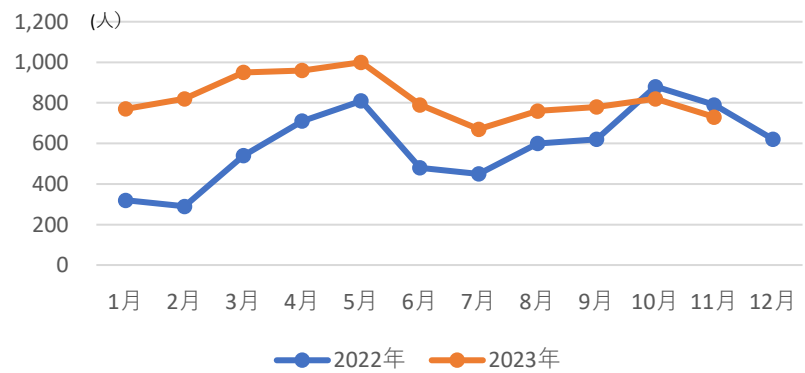
## 40代



## 50代

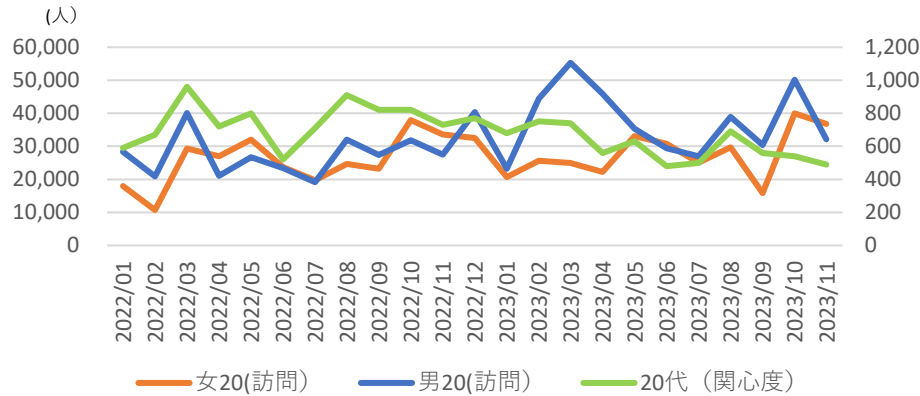


## 60代

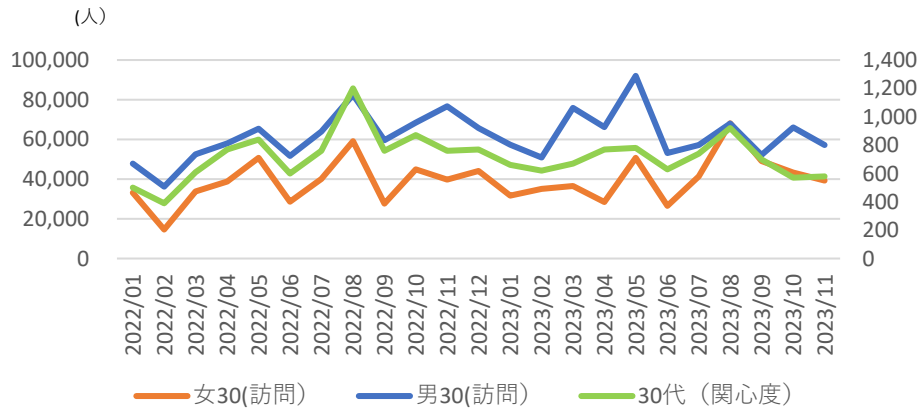


# 性・年代別 訪問者数・関心度指数推移

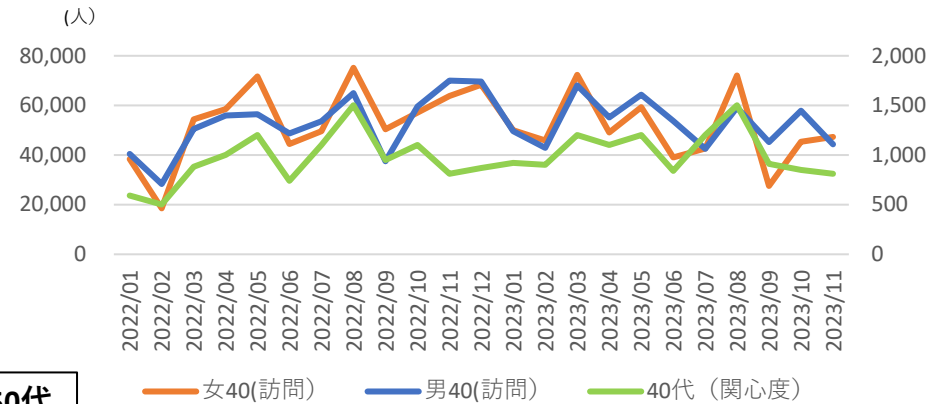
## 20代



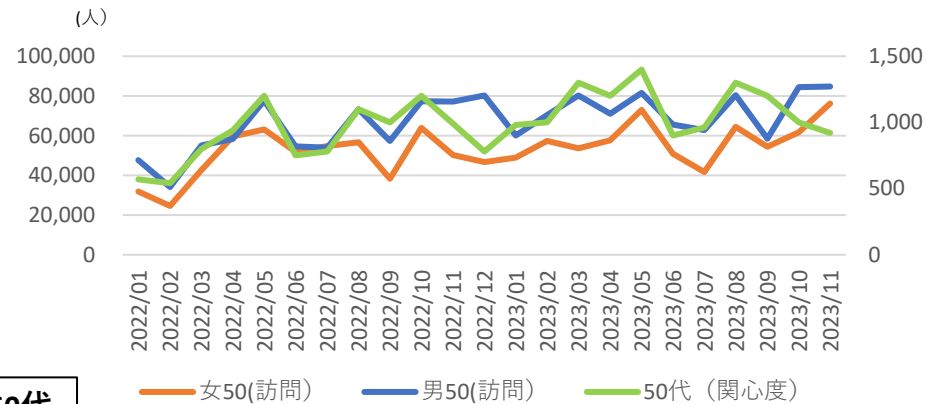
## 30代



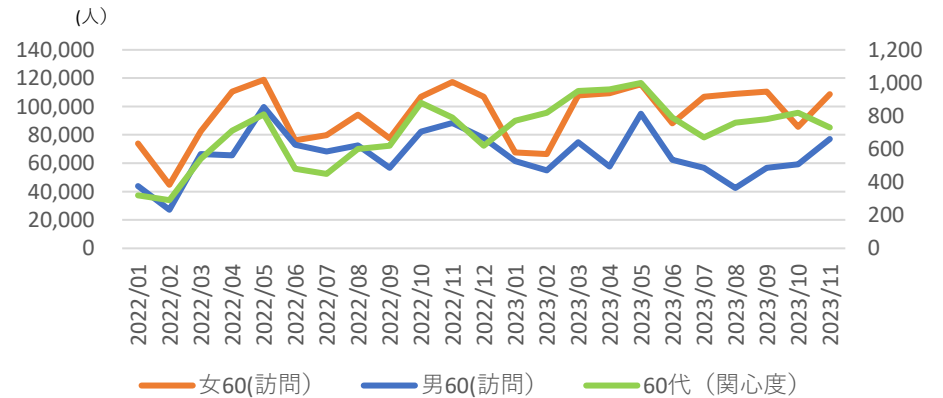
## 40代



## 50代



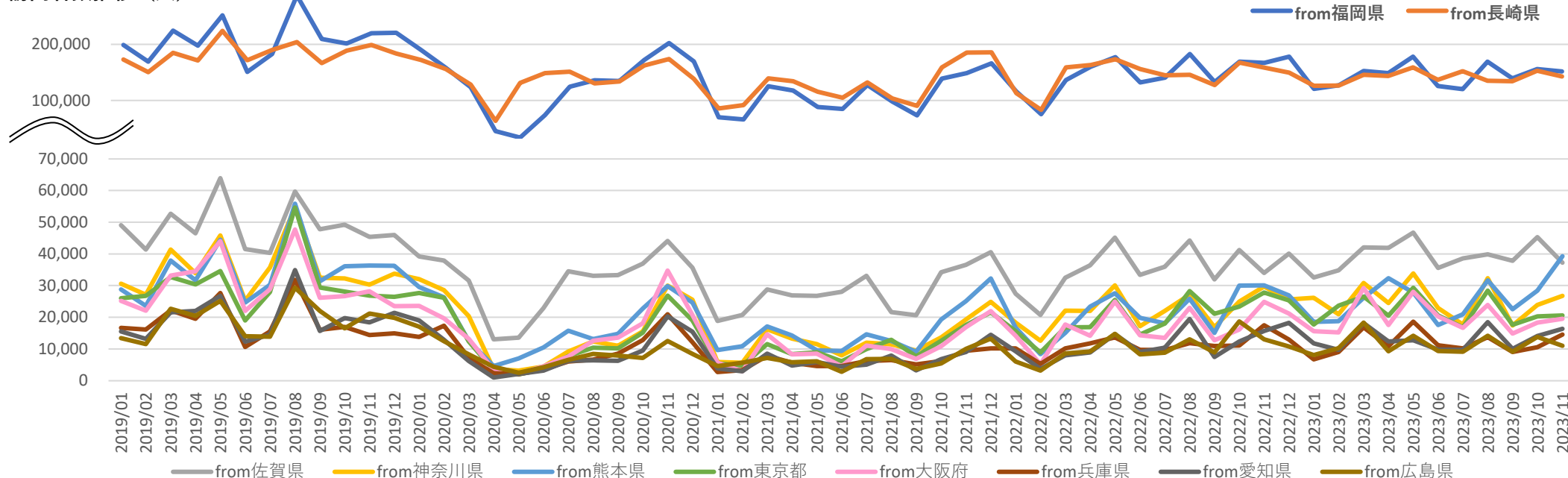
## 60代



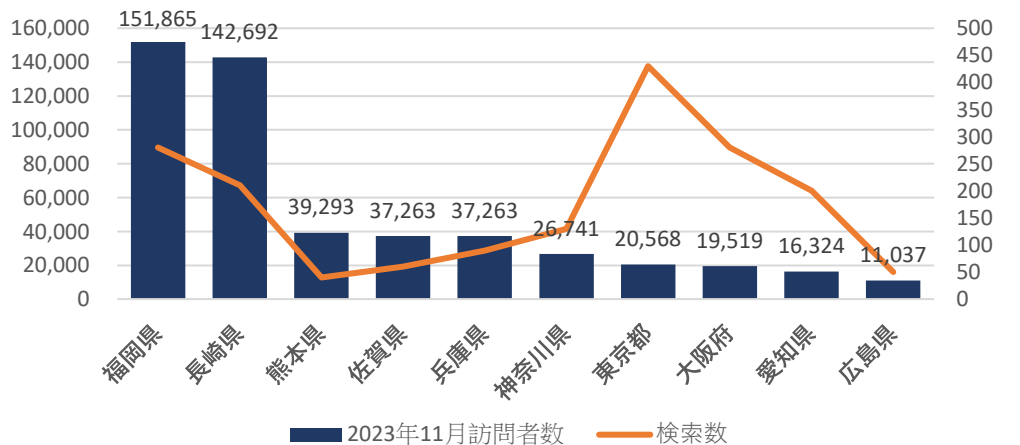
# 2023年11月／エリア別サマリー

- 本市への訪問者数は福岡県と長崎県からが最も多く、2エリアで全体の52%を占める。
- 福岡県と長崎県以外では、佐賀県、神奈川県、熊本県、東京都など九州近郊と関東が続き、以下、関西や中部、中国地方の大都市圏が続く。
- 市場規模・増加率ともに高いのは東京などの関東圏であるが、増加率が最も高いのは関西、東海圏となっている。
- 昨年11月と比較すると、東京都の関心度が微増であった他は、訪問者数・関心度とも減少傾向にある。

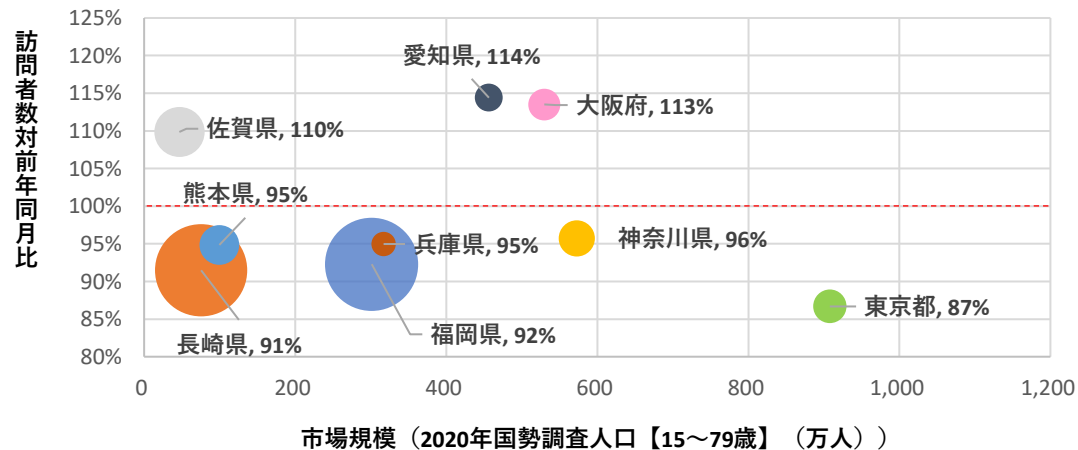
訪問者数推移 (人)



訪問者数(人) 11月都道府県別訪問者ランキング (上位10都市) + 検索数 検索数(人)

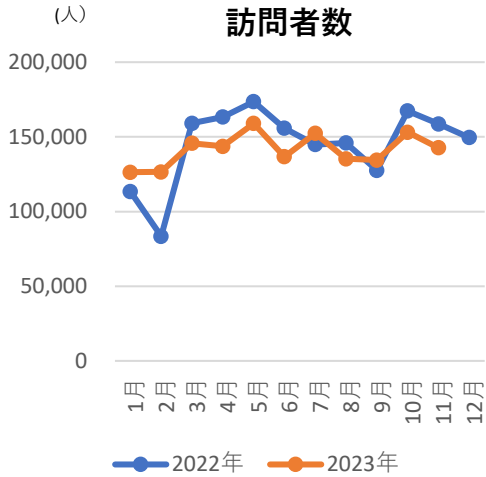


市場規模・訪問者数増加率 (対前年同月比) ※円の大きさは11月訪問者数

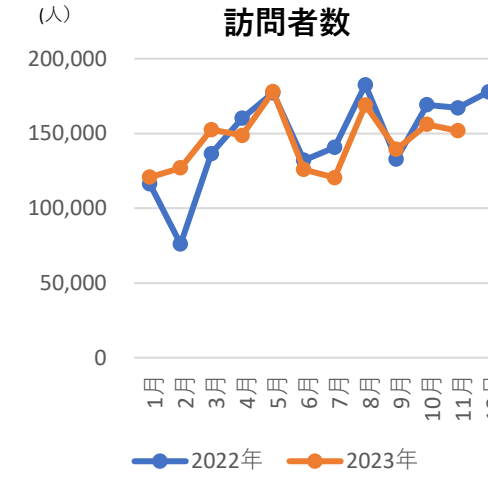


# 都市別訪問者数・関心度指数 前年比較

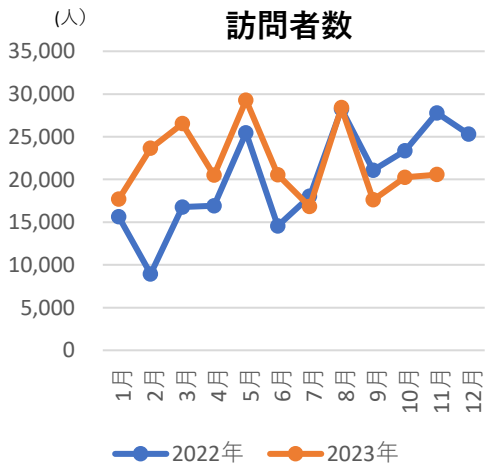
form長崎県



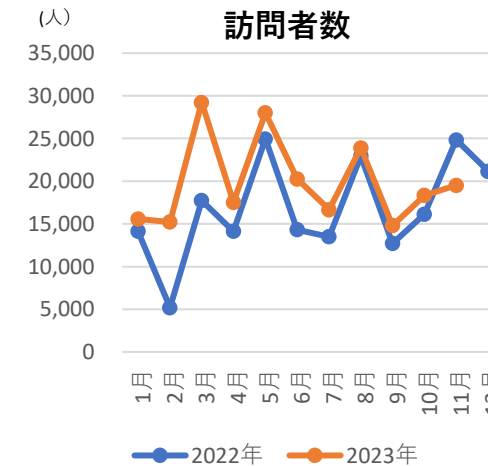
form福岡県



form東京都



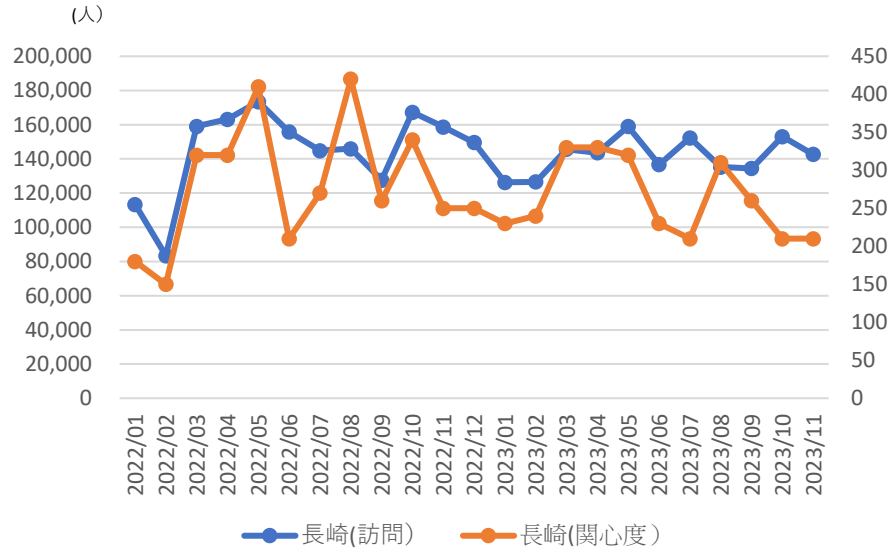
form大阪府



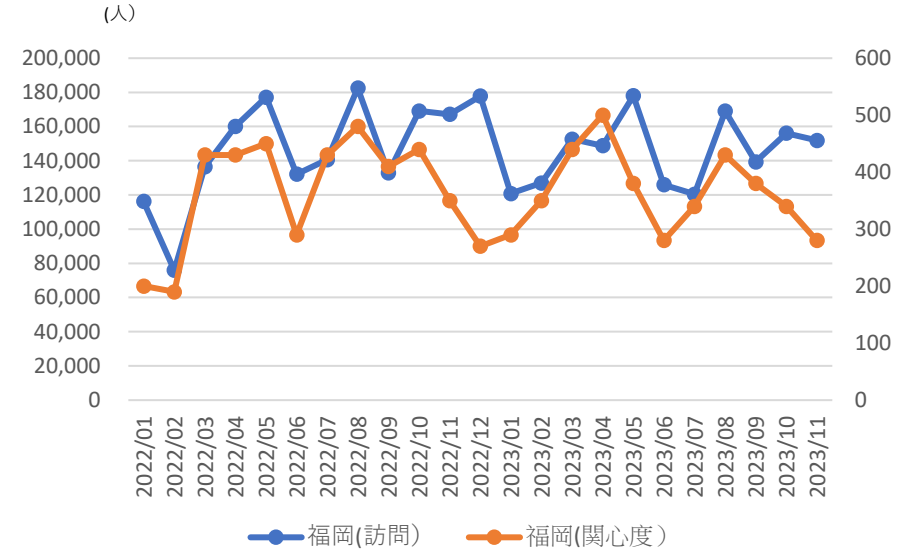
資料) ヤフー・データソリューションDS.INSIGHT / おでかけウォッチャーデータを基に作成

# 訪問者数・関心度指数の推移

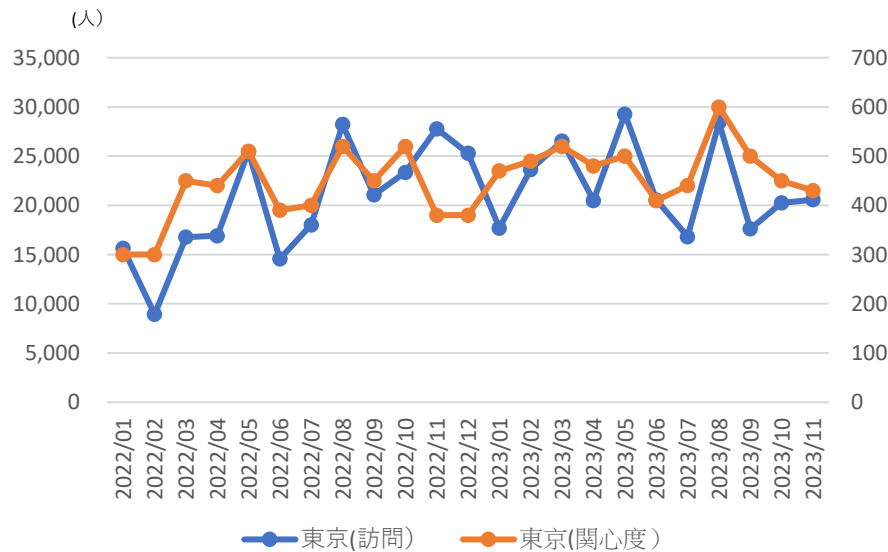
form長崎県



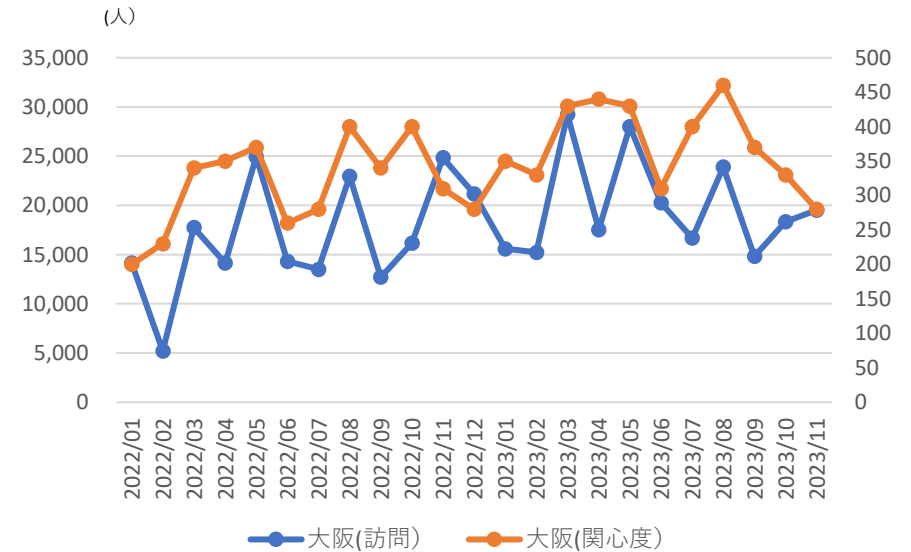
form福岡県



form東京都



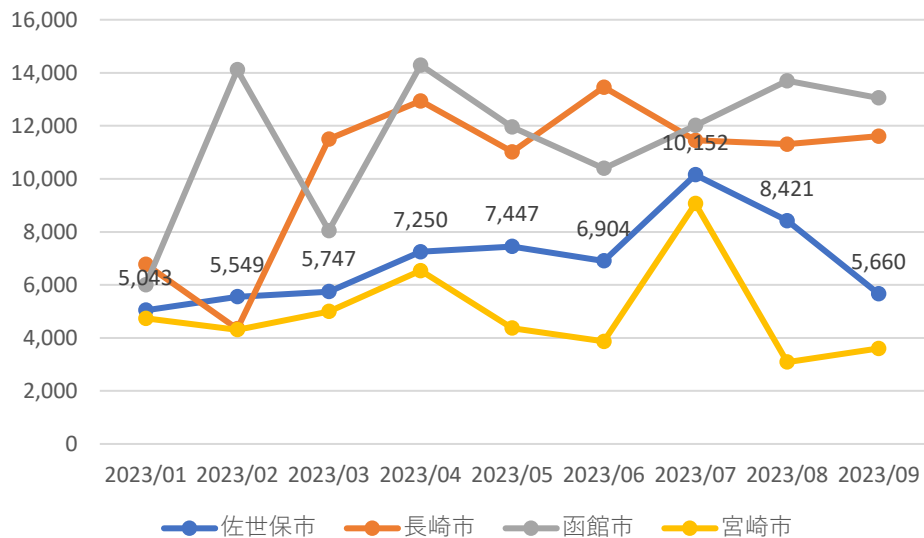
form大阪府



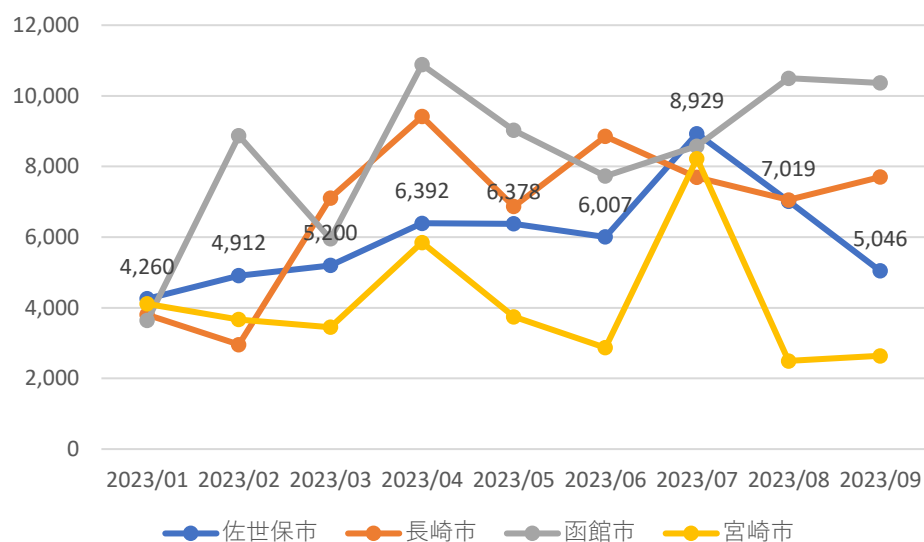
資料) ヤフー・データソリューションDS.INSIGHT / おでかけウォッチャーデータを基に作成

## (参考) 外国人宿泊動向・客室稼働率

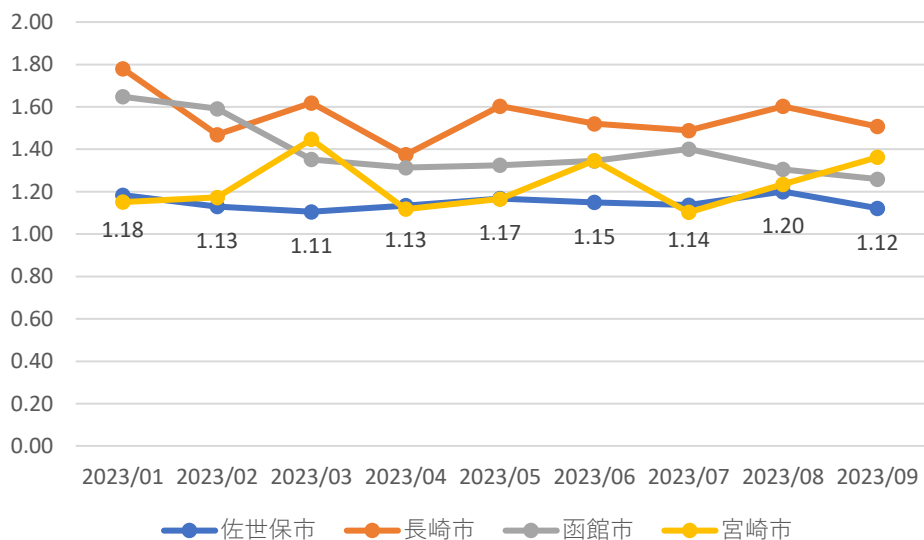
外国人延べ宿泊者数（人）



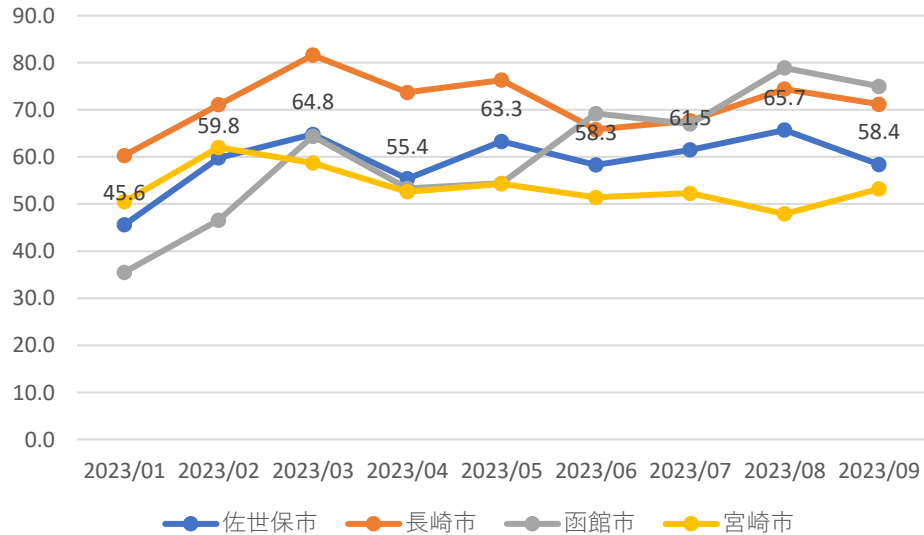
外国人宿泊者実数（人）



外国人平均宿泊数（泊）



客室稼働率（%）



資料) 宿泊旅行統計調査